

扇ノ山を主にした但馬のクワガタムシ

谷角素彦

筆者をはじめとした足立義弘、加野正、黒井和之、島田真輔のメンバーは、但馬地方の甲虫相調査の手始めとして、扇ノ山を主にしてクワガタムシの分布調査を行っている。調査地域が限定され、はなはだ不十分なものであるが、現時点でのまとめを行い、今後の土台としたい。

以下にリストを掲げ、簡単なコメントを付すことにする。なお、データについては、今後に充実したものを作成するという前提のもと、数例を挙げるにとどめておく。

1. ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky

美方町熱田 1984- VI- 20 1 ♂

扇ノ山 1984- VII- 14 1 ♂ 3 ♀♀

広く分布しているようで、樹液に集まるものや飛翔中のものを見掛けるほか、1984年7月14日の扇ノ山では、灯火に多数（大半が♀）飛来した。

2. オニクワガタ *Prismognathus angularis* Waterhouse

扇ノ山 1984- VII- 11 1 ♂

扇ノ山 1984- VII- 25 3 ♂♂ 1 ♀

ブナの朽木と灯火で採集。発生木と思われる朽ちた大木で採集した後、その木を裏返しておくと、後日同じ箇所では何頭か採れた。灯火採集では、8月を過ぎると他のクワガタが来なくなるのに反して採れるようになる。7月までの灯火では見ることはできなかった。

3. コルリクワガタ *Platycerus acuticollis* Y. Kurosawa

扇ノ山 1984- VI- 2 1 ♂

扇ノ山 1984- VI- 3 多数

1984年6月2日の個体は、ブナの葉のビーティングで得られたが、3日は陽の当たった林縁部のヤブデマリの新芽に、多数の個体が食い入っていた。枝をはったり、交尾中のものも見られた。ヤブデマリが生長すると、まったく見られ

なくなり、その後は偶発的に発見されているにすぎない。

4. マダラクワガタ *Aesalus asiaticus* Lewis

扇ノ山 1984- V- 20 (材) 7exs.

1984年5月20日にブナ林より持ち帰った朽木から羽化した。かなり朽ちたもので、樹種は不明。よく捜せば、扇ノ山以外からも見つかるものと予想される。

5. ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* (Motschulsky)

扇ノ山 1984- VII- 14 1 ♂ 1 ♀

扇ノ山 1984- VIII- 25 3 ♂♂

分布は広い。扇ノ山では灯火に集まったものを採集したほか、多数の個体がヤナギに群れているのを発見。個体数も多い。

6. ヒメオオクワガタ *Nipponodorcus montivagus* (Lewis)

扇ノ山 1983- IX- 10 2 ♂♂ 2 ♀♀

扇ノ山 1984- VIII- 25 2 ♂♂

扇ノ山を象徴するクワガタであろう。ヤナギの木に噛み傷をつけ、樹液をなめている光景を見掛ける。アカアシクワガタ、ノコギリクワガタを含めたヤナギに集まる3種のうち、もっとも垂直分布が高くおよそ1000m以上で見られる。♂♀ペアでいることが多く、交尾中のものがよく見られる。灯火には来なかった。1984年にはかなり採集者が入ったもようで、個体数は減っている。

7. アカアシクワガタ *N. rubrofemoratus* (Snellen van Vollenhoven)

鉢北高原 1981- VII- 4 2 ♂♂

扇ノ山 1983- IX- 10 3 ♂♂

扇ノ山 1984- VIII- 11 4 ♂♂ 1 ♀

扇ノ山では、もっとも個体数の多いクワガタかもしれない。ヤナギの木に付いているのをよく見掛けるほか、灯火にもやって来る。垂直分布の幅は広いようで、1000m前後のところに多いが、国道9号線沿いのドライブインの水銀灯に来ていたのを見たこともある。ヤナギには♂♀ペアでいることが多い。

8. コクワガタ *Macrodercus rectus* (Motschulsky)

村岡町祖岡 1981- VII- 18 1 ♂ 1 ♀

扇ノ山 1984- VII- 14 1 ♂

樹液や灯火に集まったもののほか、朽木割りでも採集している。分布は広く、

平地から山地まで見られ、個体数も多い。

9. スジクワガタ *M. striatipennis* Motschulsky

村岡町祖岡 1983- VII- 6 2 ♂♂

温泉町霧ヶ滝 1984- VII- 11 1 ♀

樹液（クヌギ，ヤナギ）に来たもののほか，飛翔中の個体を採集している。

以上9種のクワガタムシを記録している。はじめにも触れたように，調査は始まったばかりで，現段階での経験を整理しておくといった程度のものである。今シーズン以降の，扇ノ山を中心とした山地での調査ではルリクワガタ，平野部での調査ではチビクワガタ，ヒラタクワガタ，オオクワガタ，ネブトクワガタの追加が期待される。また，既知種についても，さらなるデータの集積とともに，テーマをもった見方が必要となってくるであろう。



ヒメオオクワガタ♂（扇ノ山産）



ヒメオオクワガタ♀（扇ノ山産）